

新庁舎・(仮称) 新福祉会館建設 基本設計市民説明会(4回目)	日時	令和2年2月15日(土) 18:00~20:30	場所	東小金井駅開設記念会館 ギャラリー
説明者	西岡市長、高橋庁舎建設等担当部長、中谷福祉保健部長、今井公共施設マネジメント推進担当課長、前島福祉会館等担当課長			
事務局	企画政策課 渡辺主査、小林主任、萩野主任 地域福祉課 山口主査 (受託者) 株式会社佐藤総合計画			
参加者数	14人(うち市議会議員1人)			
次第	1 開会 2 市長挨拶 3 基本設計の経過報告について 4 基本設計(案)の説明について 5 質疑応答 6 閉会			
(進行: 渡辺主査)				
<p>1 開会</p> <p>2 市長挨拶</p> <p>3 基本設計の経過報告について</p> <p>4 基本設計(案)の説明について 高橋庁舎建設等担当部長が3について説明を行った後、株式会社佐藤総合計画が4について説明を行った。</p> <p>5 質疑応答</p> <p><b>【市民A】</b> 駐輪場について、1台当たりの幅はどのくらいか。また、台数の根拠を教えてください。</p> <p><b>【株式会社佐藤総合計画】</b> 駐輪場の幅は、ラックなしは600mm幅で、ラック式は、300mm幅を想定している。</p> <p><b>【公共施設マネジメント推進担当課長】</b> 駐輪場の台数は、基本計画では300台としていたが、設計の前段階で見直した。武蔵野市は条例で延床面積45㎡ごとに1台という基準を設けており、これを参考に算出の上、市民の利便性を加味し、400台と設定した。</p> <p><b>【市民B】</b> 子育て用の自転車は、ラックを使用しづらい。実情に合わせ、利用者に優しい設計をお願いしたい。</p> <p><b>【株式会社佐藤総合計画】</b> すべてをラック付きとする計画ではなく、子育て用の自転車等はラックなしの駐輪場の利用を想定している。西側に40台、東側に30台確保する計画としている。</p> <p><b>【市民C】</b> 既存清掃関連施設の高さはどの程度か。ひろばや建物出入口へのアプローチに日が当たる計画が望ましいと考えているがいかがか。</p> <p><b>【株式会社佐藤総合計画】</b> 詳細は不明だが、通常の平屋建物とすれば、4m程度かと思う。小金井ひろばは建物の北側にあるため、小金井ひろばに影は入る。既存清掃関連施設が稼働している状態で工事に入るという条件のもとで計画を行っている。ひろばの位置として、南側に配置するという考え方は、敷地南側が住宅となっているため、プライバシーの観点から好ましくないと考えている。一方で、北側については、JR高架下ということで公共建築の建ち方としては、ひろばを北側に設けることは適切であると考えている。建物のエネルギーは空調エネルギーが大半であり、南と西からの日差しをいかに遮り、省エネルギーな建物にするかが大切である。本計画では、エネルギーを消費しやすい南・西側は壁を主体とし、高断熱とすることで、省エネルギーとして、直射日光が入らない北側はガラス面としてひろばに開くことで、エネルギー効率のよい建物としている。</p> <p><b>【公共施設マネジメント推進担当課長】</b> 平成29年度から平成30年度にかけて行った建設計画調査の中で、建設地の法規制等の整理を行ってきたが、その中で、北側のJR高架橋が工作物にあたることから日影規制がかかり、敷地の南東側に配置する案が関係法令等に照らして望ましい配置計画であると考えている。</p> <p><b>【市民C】</b></p>				

関係法令とは何か。

**【株式会社佐藤総合計画】**

建築基準法の日影規制の条文にかかってくる。鉄道については、緩和規定があるが、そこに工作物が建たないことが前提となる。今後、高架下を活用する可能性があることから、緩和規定を適用することができないと考えられる。

**【市民D】**

駐車台数の根拠を教えてください。日照等を考えると、地上駐車場が敷地の一番いいところにあるので、多目的ひろばとして、災害時に活用したほうがいいのではないかと。

**【公共施設マネジメント推進担当課長】**

駐車台数は、現庁舎の駐車台数と稼働率等を調べ、通常期の月平均で30%程度、繁忙期の時間帯によっては40%を超えるような状況を確認した。稼働率や今後の繁忙期、(仮称)新福祉会館の利用等を考慮すると、駐車台数は一定増えていくものと考えている。また、前面道路の交通渋滞を回避するためにも一定の駐車台数は確保すべきと考え、設計者と協議し、現在の計画とした。

設計上の制約について、既存清掃関連施設を残したまま、庁舎建設を行うことが前提となっており、一定の制約がある中での配置であることをご理解いただきたい。

**【市民E】**

庁舎屋上部分に都防災無線の鉄塔が設置される予定とのことだが、どの位置に設置されるのか。現状はどの位置に設置されているのか。

**【公共施設マネジメント推進担当課長】**

現在、本庁舎に東京都の防災無線が設置されており、田無タワーの電波塔と北多摩南部建設事務所の電波塔から受信する必要があると聞いている。新庁舎に移設するに当たり、周辺の高層建築物等の電波状況を考慮すると、地上45mの位置にアンテナを設置する必要があると確認している。設置位置等の詳細は検討中である。

**【市民F】**

この敷地は、駅から近く、中央線からよく見えるというメリットがあるが、これを活かした特徴的なことは検討しているか。また、市域の各エリアの市民サービスへの影響についてどのように考えているか。

**【株式会社佐藤総合計画】**

屋上のひろばは、高さが高架に近く、電車がよく見えるので、子どもが屋上庭園に来るなど、有効に活用できると考えている。庁舎においても執務室を南側として、ロビー・会議室部分を北側に配置することで、市民の利用や活動が電車からも見えると考えている。

**【市長】**

北側から市民活動がよく見え、ひろばの桜等小金井らしさが見える設計になっていると思っている。市域のほぼ中央に、庁舎と(仮称)新福祉会館を複合施設として整備し、総合的な行政サービスを展開できる施設を目指している。また、市域全体の市民サービスについては、コンビニで証明書等を取ることができるようになり、サービスは向上していることから、支所を作る考えはない。

**【市民F】**

コミュニティバスのルート変更を検討してほしい。

**【市長】**

現在、地域公共交通会議でコミュニティバスのルート見直しを行っている。現段階では、敷地内にコミュニティバスのバス停を計画している。

**【市民G】**

現庁舎は消防署の近くにある。他の自治体のように消防署の防災課を庁舎に入れてはいかがか。また、屋上にヘリポートの設置は検討しているか。

**【市長】**

消防署との連携は重要であると考えているが、庁舎に消防署機能を入れる計画はない。また、ヘリポートの設置は想定していない。

**【市民G】**

降雪時の凍結対策を考えてほしい。

**【市長】**

現在も降雪時には、市民が道路を利用しやすいよう、市職員が雪かき等凍結対策に取り組んでいるところである。新庁舎においても、市として、安全対策に取り組んでまいりたい。

**【株式会社佐藤総合計画】**

建築上の配慮としては、福祉会館1階ピロティ空間は、バス停からの建物へのアプローチを含めて、

雨、雪、夏の強い日差しを避けることができるようにしている。また、出入口を西側にも設けることで、すぐに建物に入られるよう計画している。

**【市民H】**

重ね合わせることで生まれる交流の場という考え方について、相互利用がどのように活性化するか。

**【株式会社佐藤総合計画】**

今後の庁舎の役割を考えると、窓口での手続きは減り、一方で、相談や市民活動のニーズが増えていくと考えられる。多様な人々の利用が想定されるため、庁舎と（仮称）新福社会館を一体的に整備することにより、相互の交流の様子を確認でき、活動が促進していくことを期待している。

**【市民I】**

シルバー人材センターのPC講習の場は（仮称）新福社会館でできるのか。

**【福社会館等担当課長】**

（仮称）新福社会館にはシルバー人材センターが入り、作業場、学習教室等でも利用できるように考えている。

**【市民A】**

駐輪ラックの使用ルール作りは難しく、可能であれば全て平場がよいと思う。また、職員用の駐輪台数は何台と考えているか。駐輪台数は樹木をなくしてでも増やすべきだと考える。

**【公共施設マネジメント推進担当課長】**

管理・運営の方法も含めて、設え、台数を考えたい。後段部分は、意見として、承りたい。

**【市民D】**

オープンスペースは、多目的に転用できるように設計してはいかかか。

**【株式会社佐藤総合計画】**

オープンスペースは極力段差をなくして、駐車場部についてもイベントや災害時にも使えるように計画している。

**【市民F】**

（仮称）新福社会館の相談室等へのアプローチやプライバシーへの配慮の考えを教えてください。

**【株式会社佐藤総合計画】**

（仮称）新福社会館は、エントランスを入ってすぐエレベーターに乗れる計画として、相談室はエレベーターに近接することでプライバシーに配慮した配置計画としている。

**【福社会館等担当課長】**

（仮称）新福社会館建設基本計画の中でも、福祉の相談はプライバシーに配慮することを明記しており、相談室は、エレベーターから目立たずに相談に行ける人目の付きにくい場所に設えている。

**【市民J】**

基本設計（案）の周知について、HP掲載方法や施設への設置方法について工夫をお願いしたい。

**【公共施設マネジメント推進担当課長】**

できる範囲で工夫してまいりたい。

**【市民J】**

説明会は体育館等人が多く集まる施設でまとめて行ってはいかかか。

**【市長】**

説明会は、なるべく各地域で開催し、市民の方々がアクセスしやすいような会場で行うことが望ましいと考え、市内6か所で開催している。

**【市民E】**

現在の暫定広場は、子ども達がボール遊び等をできる場所として利用されているが、小金井ひろばでは、どのような使い方を想定しているか。また、駐車場は地下部分の台数で足りるのではないか。

**【株式会社佐藤総合計画】**

庁舎と（仮称）新福社会館ができることにより、障がいのある方や高齢者等様々な人々が訪れるひろばとなるため、現状と同じ使い方は難しいと考えている。

**【公共施設マネジメント推進担当課長】**

地上面も含めて、一定の駐車場台数は確保すべきと考えている。

**【市民B】**

防災計画について、どの程度の地震まで耐えられる計画なのか。また、災害物資の保管はどのように

考えているか。

**【株式会社佐藤総合計画】**

震度6強にも耐えうる計画である。防災倉庫については、庁舎の機能が維持できるための備蓄を備えるよう設置を計画している。避難してきた市民の方は、地域防災計画で指定されている小中学校といった避難所に避難する。

**【市民K】**

暫定広場を利用している子ども達用に小さいポケットパーク等は作ってはいかがか。

**【株式会社佐藤総合計画】**

現状のひろばで利用されているボール遊び等と同じような使い方は難しいと考えているが、ポケットパークの設置は可能と考えている。こどもひろばやウェルカムひろばといったひろばを計画しているので、幼児といった子ども達が遊ぶことはできると考えている。

**【市民K】**

小金井ひろばとネーミングしているが、子どもを排除している印象を受ける。他の方策は検討していないのか。

**【市長】**

庁舎建設予定地として取得した敷地であり、庁舎建設までの間は暫定広場として活用してきた。現在、新庁舎・(仮称)新福祉会館建設の検討を行っている状況である。ひろばの利用は、本敷地に現状と同じような面積を確保することは難しく、同様の利用も難しい。本敷地以外の既存施設の活用や、今後のまちづくりの検討に合わせて考えていく必要があると考えている。

**【市民C】**

日影規制で北に寄せられないとのことだが、日影規制について教えてほしい。施設を北側に寄せ、明るいひろばを作るため、清掃関連施設を残したままという考えを改めてほしい。

**【公共施設マネジメント推進担当課長】**

鉄道敷については、日影規制の緩和規定があるが、高架については工作物であり、高架下に永久的に工作物を置かないという確約が取れば、緩和規定が受けられる。高架下の利用については、JR東日本八王子支社と継続的に協議を進めているところであるが、高架下の活用についても検討していると伺っている状況である。

**【市長】**

新庁舎・(仮称)新福祉会館については、早期竣工が市議会において全会一致で採択された。旧福祉会館は、既に閉館・解体しており、(仮称)新福祉会館の早期竣工が必要であると考えている。また、庁舎についても本庁舎の老朽化、第二庁舎の賃借を踏まえ、早期竣工が必要である。そのため、新庁舎・(仮称)新福祉会館は最優先課題の一つとし、早期に解決すべきと考えている。施設配置については、様々検討してきており、清掃関連施設の暫定移設も検討したが、移設に1億6千万の費用がかかることから見送った経過がある。この間の検討の経過を踏まえ、清掃関連施設を現状位置に稼働させたまま、新庁舎・(仮称)新福祉会館を建設することを市の方針とした。

**【市民C】**

日影図は資料として作成をお願いしたい。また、清掃関連施設の暫定移設費用の1億6千万円は、全体比率で考えれば大きな金額ではないと思う。小金井は高層物が少なく、明るい街であり、小金井らしさは「光」だと思う。もう一度議論してでも再考すべきである。その決断ができるのは市長だけである。是非、再考をお願いしたい。

6 閉会

— 以上で、閉会 —